

平成28年度第2回

地域包括支援センターの運営に関する専門委員会会議録

と き 平成29年3月23日（木）

ところ 小金井市役所第二庁舎 801会議室

平成28年度第2回地域包括支援センターの運営に関する専門委員会

日 時 平成29年3月23日(木)

場 所 小金井市役所第二庁舎 801会議室

出席者 <委員>

井上雅夫 高橋信子 鈴木隆
森田和道 齋藤寛和 清水洋

<保険者>

市 長 西岡真一郎
福祉保健部長 佐久間育子
介護福祉課長 高橋正恵
高齢福祉担当課長 鈴木茂哉
介護保険係長 宮奈勝昭
包括支援係長 本木典子

小金井きた地域包括支援センター

小金井みなみ地域包括支援センター

小金井ひがし地域包括支援センター

小金井にし地域包括支援センター

欠席者 <委員>

三村義仁 飯嶋智広 市川一宏
佐々木智子

傍聴者 0名

議 題 (1) 平成29年度地域包括支援センター予算・事業計画(案)
(2) 平成28年小金井市地域ケア会議について
(3) その他

開 会 午後3時00分

(介護保険係長) 平成28年度第2回小金井市介護保険運営協議会 地域包括支援センターの運営に関する専門委員会を開催いたします。

開催に当たりまして、事務局よりご連絡をいたします。本日は市川委員、飯嶋委員、三村委員、佐々木委員からご欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

そのほか、今回は小金井市地域ケア会議の開催も予定しておりまして、市からは高橋経済課長、並びに堀池交通対策課長、そして商工会からは三笠理事、伊藤経営指導員、今井商店会連合会会長にお越しいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、この後、市長よりご挨拶がございますが、公務のためご挨拶の後に退席させていただきますのでご了承ください。

それでは、齋藤委員長、よろしくお願いいたします。

(委員長) 皆さん、こんにちは、お忙しいところをお集まりいただきありがとうございます。

今日は地域ケア会議のほうも開催を予定されているようです。いつもとはちょっと違う形になりますが、よろしくお願い致します。

それでは、まず、市長さんのほうからご挨拶をお願いいたします。

(市長) 皆様、こんにちは、小金井市長の西岡真一郎でございます。本日は大変お忙しい中、会合にお集まりいただきましてまことにありがとうございます。また、常日ごろより小金井の福祉の面におきまして、本日の皆様方におかれましてはほんとうにたくさんの方々にご尽力をいただいておりますことに、改めて心より御礼と感謝を申し上げます。また、今日は幅広い方々に地域包括ケアシステムにつながる有意義な会合になるべくお集まりいただきました。改めてほんとうに感謝申し上げます。ありがとうございます。

平成29年3月1日現在の小金井市の人口は11万6,991名、全体で外国人も含めると11万9,400人ぐらいまで来ていますから、今年中に12万人の大台に乗ることを見込んでおります。その中で65歳以上の人口は2万4,883人で、高齢化率は21.2%でございます。そして団塊の世代が75歳以上になる2025年が近づいておりますが、もうあと8年でこの2025年に突入していくということになります。平成37年でございます。そのときの小金井市の人口における高齢化率は、この2025年には何と24.9%ということで、市民の4人に1人が高齢者になるという推計値でございます。小金井市では、高齢者が住みなれた地

域で暮らし続けるため、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進しております。齋藤委員長には、そのリーダーとしてさまざまな取り組みにも尽力していただいております。ありがとうございます。

本日のテーマでございます地域ケア会議はこの取り組みの1つとして位置づけておまして、さまざまな地域の課題についてどうすればいいのか、関係者と市民が策を練り、知恵を出し合い、ともに考え始めております。また、高齢者の方々と地域ということ言えば、お買い物に苦労されている方もいらっしゃる地域もあります。ほんとうにたくさんの課題がございますので、今日はぜひさまざまなご意見を交換していただいて、課題を解決するための方策に向けて皆さんで知恵を出していただきたいと思っております。一つ一つの機関だけでできることには限界がありますが、本日、このようにたくさんの方々にお集まりいただいて、手を携え、皆様のご理解、ご協力をいただく道のりそのものが地域包括ケアシステムの構築過程にあり、このことはまちづくり、それから人材の育成にもつながると考えております。

今、小金井市では認知症サポーター養成講座や介護ボランティアポイント制度などで、商工会の方々にもご協力いただいております。また、国内初となるサブスタッフ制度、市民の力、地域の力が生かされる取り組みを進めております。また、民間事業者の方々にも高齢者の見守り協定を随時提携させていただいております。昨年は9事業者、今年は13事業者、22の事業者の方々に高齢者等の見守り、お仕事中に、あるいは訪問中に何か異変があった場合にはすぐに関係機関に連絡していただくという取り組みも進めております。市民の力、地域の力、民間の皆様方の力、そして行政の役割と、皆さんで力を合わせて頑張ってもらいたいと思っております。

市議会におきましては3月9日に第1回小金井市議会定例会を閉会いたしました。今議会では平成29年度の一般会計を含む、特別会計を含む全ての予算、それから上程議案、その全てが原案どおり、おかげさまで可決、ご議決をいただきました。平成29年度の事業に向けて、担当職員ともども精いっぱい頑張ってもらいたいと思っております。

平成28年度の私の施政方針にも、平成29年度の私の施政方針にも表明しておりますけれども、誇りの持てる、住み続けたいと願われる、そしてもっと市民力が結集された小金井を今後も目指して、皆様方と一緒に対話しながら頑張ってもらいたいと思っております。

本日はどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。(拍手)

(委員長) 西岡市長様、どうもありがとうございました。力強いお言葉をいただきまして、これから小金井市も地域包括ケアシステムがどんどん進んでいくのではないかという期待を持ちましたけど、それでよろしいでしょうか。

(市長) はい。

(委員長) ぜひよろしく願いいたします。

それでは、議事に入る前に資料の確認をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(介護保険係長) 介護保険係長でございます。

本日の資料は、次第に記載してありますとお事前にお送りさせていただきました3点になります。不足がございましたら事務局までお申し付けくださいませ。

なお、会議録を作成するためにICレコーダーによる録音をいたしますので、ご発言される前には名前をおっしゃっていただきますよう、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

また、本日はグループワークを予定しております。その際に写真撮影をさせていただき予定でございます。委員の皆さんには十分配慮の上、撮影させていただきますので、ご了承のほどよろしく願いいたします。

以上でございます。

(委員長) ありがとうございました。

写真は、顔はそのまま撮ってしまうのでしょうか。

(介護保険係長) 見えないような形で、少し遠目というか雰囲気をつめるような形で考えております。

(委員長) わかりました。

それでは、議題に入る前に前回の議事録を確定させたいと思います。事前に事務局のほうへ特段の修正の申し出はなかったようですが、この場で特にご意見がなければ事前に送付されたとおりで確定したいと思います。いかがでしょうか。特にないようですね。

それでは、送らせていただいたもので確定ということにさせていただきます。事務局さん、それでよろしいですか。

議 題 (委員長) それでは、本日の議題に入りたいと思います。

まず議題1で、平成29年度地域包括支援センター予算・事業計画(案)と

ということで、4包括を代表してひがし包括さんをお願いしたいと思います。
よろしく申し上げます。

(にし地域包括支援センター) すみません、にし地域包括支援センターの久野と申します。

今、資料の中で、資料1のところの一部訂正させていただきたい点がございまして発言させていただきます。申しわけありません、お手元に資料1をご用意いただけますでしょうか。その中の平成29年度小金井市地域包括支援センター運営に関する収支予算(案)というものをお手元にご用意ください。その中のにし地域包括支援センター、下の部分になると思います、収入の部分で件数を間違えていた関係で直していただければと思って、2カ所訂正させていただきます。収入のところの4のところです。新予防給付プラン収入(直営)のところは802万円と書いてあると思いますが、そこを784万円と訂正していただけますでしょうか。あとその下、5番です、新予防給付プラン収入(委託)のところ、2万円となっておりますが20万円とゼロを1個多く書いていただけますでしょうか。合計には何ら影響はございませんので、この2点を訂正させていただきたいと思います。申しわけありませんがよろしくお願いいたします。

(ひがし地域包括支援センター) では、私、つきみの園の施設長をさせていただきます鈴木由香と申します。ひがし包括の運営する法人の職員でございます。ひがし包括が代表して収支の部分の説明させていただきます。

お手元の資料にそれぞれ、きた、ひがし、みなみ、にしという形で、今回は4つ見やすいように、比べやすい形式になっております。ひがしの部分を代表してご説明させていただきます。

収入は小金井市からの委託収入ということで、運営上さまざまな項目、総合相談、それに認知症の関係等をまとめまして2,991万3,000円をいただいております。そのほかに介護予防把握事業委託収入としまして360万円という形で、今にしさんからも訂正がありましたけれども、予防プランということで直営部分と委託部分というのは単価が若干違いますので、こちらをそれぞれの年度の予想件数を右に書いておりますが、それぞれ計算いたしまして、私どものひがしでは5,020万2,000円という形で収入を上げさせていただいております。

次に支出でございますが、人件費等は、私どもの施設では6人を配置しております。こちらの人件費に関しては、4包括ともそれぞれの法人給与規定

がありますので若干の違いが出てくると思われま

4番の事業費（事業委託費）というのは、さきに述べました収入のほうで委託というのがございますけれども、そちらの部分の委託費を払うという形でこちらに載せさせていただいている部分と、そのほか法人それぞれで事業で委託している部分などを載せさせていただいております。収支はその支出と収入を差し引きがないような形で予算をつくらせていただいております。

次の資料は細かい内訳になっております。右側のほうに総合相談とか虐待防止とかいろいろ項目が分かれていますけれども、これらは、例えば人件費ですと6名分の職員報酬を、0.何人分とかという形で案分した表になっておりますので、後ほどごゆっくりとごらんいただければと思います。

簡単ですが、予算に関しては以上になります。

（ひがし地域包括支援センター）続きまして、事業計画につきましてご報告させていただきます。小金井ひがし地域包括支援センターの高橋です。よろしくお願いいたします。

お手元の資料1の7ページをおあけくださいませ。平成29年度事業計画、小金井ひがし地域包括支援センターと書かれた書類になっております。私どものセンターは小金井市の東町・中町・本町1丁目の地域を担当させていただいております。

センターの基本方針といたしましては資料に記載してあるとおりではございますけれども、具体的には次の2点になります。1点目は年齢を重ねて住みなれた地域で暮らすことができるように、高齢者やご家族、個々に応じた個別的な相談対応を行うこととなります。2点目につきましては、こうした高齢者の方々を地域として支えることができるように医療・福祉・介護などの専門職、また地域住民の方々と築く地域づくり、その実現を目指す上で欠かすことのできないネットワークづくり、地域包括ケアの構築を図っております。これらの2点を専門的な知識を生かしながら行ってまいります。

この2点の基本方針を実現するために、資料7ページの中段から示しております1から10の事業を実施してまいります。事業の詳細につきましては後ほど資料をごらんくださいませ。この場では事業の概要についてご説明いたします。

まず、基本方針1点目の個別的な相談対応を行うための柱となりますものが1の総合相談・支援業務になります。これは私どものセンターの、どのセンターもそうなんですけれども中心的な業務になっております。個々の相談

への直接的な対応だけではなくて、相談に応じて必要な機関に紹介したりつないでいくという支援も行っております。また、みずから困りごとを意識しない方への対応といたしまして、地域の方々、民生委員などの方々の連絡を受けまして個別の訪問を行うなどの対応を行っております。

この総合相談・支援業務を行うために、2番目、虐待防止・権利擁護事業といたしまして、虐待が起きてしまった方への対応ではなくて、これらを未然に防ぐ予防策を講じるための関係者との連携を行います。

3の包括的・継続的ケアマネジメントといたしまして、要介護認定を担当されます地域のケアマネジャーに対する支援といたしまして、個別ケースの相談、必要に応じて同行の訪問、ケアマネ通信という通信を発行いたしましてケアマネジャーに対して有益な情報を提供しております。また、昨年度からは勉強会の開催を企画しておりまして、平成29年度につきましても引き続き開催していきます。

4の介護予防対象者把握といたしまして、実際に介護が必要になる前の方への啓発事業といたしまして、私どものセンターといたしましては毎月個別の相談会を施設で開催しております。

8ページをごらんください。5の新予防給付介護予防ケアマネジメント・総合事業といたしまして、介護保険の認定を受けられた要支援1、2、昨年10月から始まっております総合事業の事業対象者の認定を受けた方に対する介護保険総合事業のサービスを利用するためのサービス調整、ケアマネジメントを行ってまいります。

6の地域介護予防活動につきましては、小金井市のご当地体操であります小金井さくら体操の活動の支援であったりとか、市内で活動するリハビリ職との連携による小金井さくら体操参加者への介護予防の啓発を行ってまいります。こうした活動を通じまして課題の早期発見、高齢者の方々の異変の早期発見に努めてまいります。

7の認知症総合事業におきましては、受診を拒否する方への対応としまして、認知症初期集中支援チームといった医療職、福祉職がチームとなりまして個別の訪問を行い、症状の見立てを行います。また、認知症の情報が一目でわかるような冊子、通称認知症ケアパスの作成に向けまして昨年度から取り組んでまいりました。今年度、その発行に向けて最終的な調整を市全体として行っております。また、私どものセンターにおきましては認知症カフェを立ち上げまして、認知症の方々の居場所、あわせて、認知症の方だけでは

なくて地域の方々が参加いただくことで認知症の理解を深めていただく居場所づくりを行ってまいります。

基本方針2点目の地域づくり、ネットワークづくりの柱となりますものが8の生活支援総合事業、9の地域ケア会議になります。8の生活支援総合事業におきましては地域課題の把握、そして社会資源の発掘を目的に、生活支援コーディネーターが主体となりまして地域の情報収集に努めてまいります。また、社会資源をまとめました社会資源ハンドブックを平成28年度に発行しておりますが、その改訂に向けましては現在市全体、各団体と連携し、情報収集を継続しております。

9の地域ケア会議では、8で抽出いたしました地域の課題を専門職だけではなく地域住民を交えて検討する会議を開催いたします。しかし、地域における会議だけでは解決できない課題もありますので、この後の地域ケア会議におきまして、会議で挙げた課題を市に提示しているところでございます。

最後に10の医療と介護連携事業におきましては、地域で生活する上で欠かせない医療との顔の見える関係づくり、連携づくりを、こうした会議や勉強会の場だけではなくて、私どものセンターの職員が医療機関に出向かせていただきながら、先生の方々と日々連携をとらせていただいております。

最後になりますが、個別の支援を行うためには地域におけるネットワークが不可欠であります。このネットワークは地域づくりにもつながると思っております。こういったネットワークづくりに関しましては、専門職だけではつくり上げることができないものと考えており、地域住民との顔の見える関係づくりを行うために、私どものセンターの職員はセンターの外に出向きながら、地域の方々の声を聞くように努力してまいります。

説明は以上になります。ありがとうございました。

(委員長) ありがとうございました。実にさまざまな事業を展開していただいて、頭の下がる思いですが、ご質問、ご意見等がありましたらぜひお願いしたいと思います。特にありませんか。皆さん、満足していらっしゃるということで理解させていただきます。ありがとうございました。

それでは議題2、平成28年度小金井市地域ケア会議について、まず事務局から説明をお願いいたします。

(包括支援係長) 包括支援係長の本木でございます。いつもお世話になっております。資料2について説明させていただきます。

地域ケア会議といいますのは、地域包括ケアシステムの根幹をなすと言わ

れているものでございます。今年度、地域包括支援センターがそれぞれ開催してきた内容の報告も兼ねて簡単に説明いたします。

こちらは地域包括ケアシステムの一覧の図になります。それぞれ高齢者を支えるために必要な項目としてさまざまなことが盛り込まれておりますが、まちづくりという話が先ほどあったと思います。地域ケア会議と言いますのは、これを満たすための中に埋もれている地域の課題を洗い出す、そしてどういうふうに解決していったらいいのかというところを考えていくということになります。

それぞれ4カ所で開催させていただきました。

この女性は、この後のグループワークで事例として登場されるコガネイチコさんでございます。長年小金井に住まれております。住みなれた小金井だけど、年齢を重ねるにつれて今までは感じなかった生活上の困りごと、そして不具合が出てきた。「若いころには想像もつかなかったことなのよね」ということで、地域ケア会議は3層構造になっております。この個別がまずはスタートです。ここにどのような問題があるかというのを各包括で、地域にはどのような困りごとを抱えた、そしてどのような人がいるのかというところになります。

ここでポイントになりますのは、守秘義務のある関係機関だけではなくて、その個別の方を支えている地域の方、そのような方も入っていただくというものが1つの特徴になっています。見えてきた個別の課題での共通部分というのは、実は4包括共通しております、やはりひとり暮らしの方、そして認知症がある方を地域でどう支えていくか、防災の心配なども兼ねて話し合ってきたということが共通だなというふうに見えております。

これを踏まえて、その次の小地域ケア会議と言いまして、それぞれの包括でさまざまな関係機関の方にお集まりいただいて開催しております。個別とこの小地域ケア会議が各地域包括支援センターの主催となって開催するものでございます。

高齢者が住み続けるために地域でどのような課題があるのかをみんなで考えるというもので、ほんとうにたくさんの方々、民生委員さんをはじめ、商店、保育園に入ってもらった地域もでございます。それぞれの方に参加していただいて、28年度に見えてきました地域の課題というものを簡単にご紹介したいと思います。

にし包括は居場所づくりについて話し合いをしております。やはり地域の

人が歩いて行ける範囲で集まれる場所が少ない、そしてバスの路線も非常に少ないということで、このようなたくさんの方々にお集まりいただいて開催しております。これを受けて、にし包括で住民主体のサロンを集合住宅の中につくっております。ご案内のチラシがこのような形になります。

そしてひがし包括です。地域の強みと弱みというところで、買い物に不便な地域があるというところで、ここは有料老人ホームで開催されております。今回お越しいただいている商工会のお二方もご参加されております。ここでは商業施設に相談を包括のほうからしまして、宅配は可能だけでも、移動販売はちょっと、というようなことがございました。

コガネイイチコさんは、「宅配もいいけれども、実際に商品を見て買いたいわ」というようなご意見をいただいております。

みなみ包括です。同じく居場所づくりというところで、歩いて行ける範囲に地域で集まれる場所がやはり少ない、似たような課題が出ています。買い物に不便な地域がある、バスの路線が少ない、買い物をしてくれるボランティアが欲しいなどなどの意見が出ました。こちらはすぐ目の前に工学院という専門学校がございまして、そことのちょっとユニークな連携もございまして、異世代交流です。それから、前原町1丁目、2丁目の集会施設に住民主体の活動の場を、こちらの包括が後方支援という形でつくらせていただきました。

それがこのご案内のチラシになります。

ちなみに、きた包括はちょこっとボランティアというところで、梶野町公園にサポーターというボランティアさんがいらっしゃいまして、何か高齢者の手伝いをしたいというようなお申し出があったと聞いております。認知症高齢者への支援につなげられないか、などの方向を探っております。

こちらも生き生きサロンという、この小地域ケア会議に参加していただいた地元の薬局、それからサービス付き高齢者住宅の方々が、じゃあ、一肌脱ぎましょうということで、この地域ケア会議の後にこのようなイベントを企画していただきました。薬剤師体験というようなイベントも中にはあったりですとか、町会も主催の中に入れていただくという非常にユニークな施策になっております。

それを受けて、それぞれのエリアで挙がってきた地域の課題を踏まえて、今回の会議が市の全体での位置づけで開催する運びになりました。

その中で、やはり日々の買い物に不便な地域がある、ここに絞って今回はお話し合いをしていただきたいと思います。やはりその中で、外出や移動に

ついても不便な地域があるということ踏まえた上でお話しをいただければと思います。まずは地域課題の共有というところが重要でございます。

データのなところにも触れますが、それぞれのエリアで高齢者数と高齢化率を割り出してみたときに、みなみが22.9%で高齢化率は圏域の中では一番高いかなというところになります。全国レベルで言いますと26.7%、東京都が23.1%ということ言いますと、小金井市は20.8%なので少々若いというのが見られております。

1年前の状況と比べてみても、あまり変わりはないかなというところですよ。0.3%、高齢化率ふえたかなというところになります。

推移の数字と比較しますと、もともとの今の数字が24,438人ですので、推定よりはちょっと緩やかに伸びているかなというところが見てとれると思います。

それでは、本日の地域ケア会議に移りたいと思いますので、よろしく願います。

(委員長) 大体のイメージがつかめましたでしょうか。今までのところでご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

どうぞ。

(高橋委員) 市民公募委員の高橋です。20ページで、若干増加していますね、0.3%ですか。それは64歳が65歳になったというその単純な増加率なのか、そういうことなんですね。

(包括支援係長) 包括支援係長でございます。

先ほど高橋委員がおっしゃったように65歳に到達された方の増加率でございます。

(高橋委員) もう一点なんですけれども、この表の中では要支援の方がどれぐらいいるのかとか、要介護度がどれぐらいなのかというのが見えないので、もし区分別の表みたいなものがあると、どこら辺が要介護度の高い方がたくさんいらっしゃるのかというのがわかって、地域の課題が見えやすくなると思われましたので、またご検討ください。

(委員長) ほかはいかがでしょうか。今日のこれからの進め方とかについてはどうでしょうか。

じゃあ、私のほうからいいですか。日常の買い物に不便な地域であるということテーマとして検討するということですが、それは小金井市全体のこと考えるのか、自分の住んでいる圏域のことでよろしいのか、その点は

でしょうか。

(包括支援係長) 包括支援係長でございます。

今回の運営協議会の中で開催するテーマについて、各包括と話し合っただけの内容を洗い出して検討させていただきました。その中で、居場所というところについては、各包括ともに苦労して地域の方と協力した上で少し受け皿はふやしてきたというようなどころがご案内した中であつたんですね。包括もしくは介護福祉課が頑張ってもなかなか難しいよねっていう残った課題のところを検討した中で、やはりその中で一番お困りの事を検討しようというところで、今回買い物ということを話しをさせていただくというテーマがございました、ということでよろしくお願ひします。

(委員長) ちょっと、やってみないとわかんないですかね。そう、実際進めるのはファシリテーターの方がいるんですか。

(包括支援係長) 司会進行が、各グループにあります。

(委員長) その方がいるということですか。

(包括支援係長) 司会進行は各地域包括支援センターのほうでさせていただきますので、皆様は、各グループにいろいろな職種、お立場の方に入つていただいておりますので、活発なご意見をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。発表も地域包括支援センターでいたしますので、よろしくお願ひいたします。

(委員長) 言いたい放題言つていいのかな。簡単に言えば思つたことをどんどん率直に言つてほしいということですね。

ほかに何かございますか。

ないようでしたら始めますか。実際の進行は各グループで。それでは、時間は1時間を予定しているということですね、じゃあ、よろしくお願ひいたします。

(グループワーク)

(委員長) では、そろそろお時間が参りましたので、各グループごとに発表をしていただきたいと思います。きっと立派な、立派な計画が出てきたかなと、そんな気張らなくてもいいと思いますよ、うまくまとまらなかつたら全部を話していただければいいだけで、それでは、我こそはという方はいらっしやいますか。どうぞ、お願ひいたします。

(きた地域包括支援センター) 4グループの発表です。私たちは包括センターの職員が2人と市の職員さんが2人、あと包括のもっと偉い方が1人いま

したから3人です、すみません。あと運協の委員の井上委員と民生委員の清水さんという6人で話しました。それで盛り上がったと思います。意見もいろいろ出ました。この表に従って分類したんですけれども、分類がやや曖昧なところもあります。ただ、まとまらなくてもいいので発表をということだったので発表します。

まず自助、ご本人が力を出すという部分で4つほど出ましたけど、「実現性高い」というところの4個か5個ぐらい、「中」と「低い」はなかったです。皆さんの意見とも同じとは思いますが、ご本人がまず要支援1より悪くならないようにしたほうがいいかなっていうので、最近カフェもふえているのでカフェに行ってお友達をつくったり、あと小金井さくら体操の管理会場じゃない自主グループだったら行っていただいていた方がいいのかなとか、そんなことも出ました。

それから、あと、これはこの話の一番前提かもしれないということで意見が出たんですが、買い物に行く先がないと言っているんですけども、私たちが無意識のうちにヨーカドーなどを想定していますが、実は皆さん、行きたい場所がそこかどうかがわからない、もしかして府中のほうに行きたいかもしれないし、国分寺かもしれないし、そういう調査もしたほうがいいんじゃないかというのがありました。

それから、この意見、このイチコさんみたいな人が大体何人いるのかっていう、そういう人数的なものも把握したほうがいいんじゃないかというのがありました。そういうものをはっきりさせてから、この互助のほうにもありますけど、例えば民間さんのほうで訪問販売に行ってもらおうとか、根拠がないと幾ら始めても途中で終わってしまうという話がありました。

あと一番多かったのが互助です。ただ互助も、もしかして互助じゃないものが入っているかもしれないんですけど、互助はもう20個ぐらいの意見が出ています。全員が一致して言っていたのが、今ちょっと言いましたけど訪問販売的な、移動販売的なものがまず考えつくものなのかなと思いました。全員が出しています。

それから、あと高齢者ご本人がネットを上手に利用して、例えば自分の目で見て買えるようにするのを誰かサポートしてもいいのかなというのもありましたし、小金井は大学が多いので大学との連携と、工学院さんとみなみ包括さんが頑張っていますが、そういうのもいいのかなというのもし出ました。

それから買い物に同行するボランティアとか、それからあと自分たちで何

人かで買い物ツアーみたいなことを企画して、タクシーで行ってもいいし、できるかわかんないですけどバスをチャーターして行くとかそういうのもいいかなというのもありました。

それから、あとボランティアとかっていうと、つい市民の方とか個人を言いがちですけども、民間の力をもっとかりてもいいなというのがありました。さっきのニーズ調査なんかをして、もしかして行きたい先が個人の商店さんだとか何かそういうのが出たらお力をかりたりとか、いろいろなところの力をかりられるかもしれないという話も出ました。

あと、共助は介護保険サービスという意味かなと私たちは思いましたけれども、デイサービスの送迎のバスが昼間、もし余裕が、暇であればそういうバスで、小さいバスなんかで送迎というかそういうのをやってみてもいいんじゃないかなと、それを私たちは「実現性高い」のところに入れました。既に車があるので、交渉してもいいのかなっていうところですよ。ご本人がそもそも介護保険サービスを使って機能訓練を行うのもいいなっていう、さっきのカフェの利用とも重なりますけど、そういう意見もありました。

それから、公助のところは、言うのにちょっと勇気が要りますけれども、CoCoバス系がすごく多かったです。それで、CoCoバスを公助に入れていいのかもちょっとよくわからないところではありますけれども、CoCoバスそのもののバス停をふやす、私たちの勝手な意見では「実現性高い」と見ています。実現性中ぐらいではCoCoバスの本数をふやしたりとか、それから今100円で、もし往復使うと200円ですけども、そういうのをちょっとディスカウント、オフにしてもいいんじゃないか。実際に他市では免許を返上した方が、国分寺市のぶんバスとかそういうものが無料になっているというのがあるようなので、そういうのもいいんじゃないかというのがありました。それから、駅まではCoCoバスでいいんですけども、駅から、じゃあ、どうするんだっていうときに、車椅子とか三輪車の貸し出しを市がやってもいいんじゃないかっていう話もありました。

あと「実現性低い」の公助の中で、坂にエスカレーターやエレベーターをつけるとか、坂をなくして平にするとかいうのがありました。

まとめませんが以上です。ありがとうございました。(拍手)

(委員長) 松嶋さん、ありがとうございました。何かもうブルドーザーのように全部言っちゃったような感じで、ほかのグループは困っているんじゃないかと思いますが、では、次にどなたか。

では、お願いします、久野さん。

(にし地域包括支援センター)では、3グループの発表をさせていただきます。今松嶋さんが上手に発表なさったのでちょっとプレッシャーなんですけど、こちらのグループのメンバーをまずご紹介いたします。こちらはにし包括の職員がいるところなんですけど、委員さんとしては中町在住の鈴木委員です。市役所の所さんと、それから商工会の三笠さんに入ってくださいまして、それと、市のほうから交通対策課の堀池課長がいらしていただいております。また明日という介護事業所と、それから寄り合い所をやっていたら森田さんという形での、メンバー7人でディスカッションしました。

まず、自助のところ、このイチコさんが頑張るべきところ、「実現性高い」のところは電動三輪車の活用。坂下なので、電動であっても三輪車だったら安全かなっていうところで、ちょっと2人ぐらい意見が出ていました。あと、一応買い物なんかも1週間分はもうまとめて買って、それを配達してもらって、「実現性高い」ですね。あとは息子さんがいらっしゃるんで、そういう息子さんのご協力を仰いでちょっと送ってもらったりとか、実現性は低いんですけど、息子が世話をするっていうのも近い将来あってもいいのかなというところなんです。ちょっと突飛な発想で、自助のところ、実現性は低いんですけど、イチコさんご自身がお好みのお店を開くと、それが一番満足度が高いのではないかとこのところ意見が出ました。

あと互助のところ、ここが結構「実現性高い」、「中くらい」っていろいろと混在しているとは思いますが、やっぱり一番多かったのがボランティアの活用というところなんです。できれば小中学生のお手伝いボランティアだとか、それから高齢者の割引クーポンみたいなのが使えたら、何か余計いいかなみたいな意見とか、それと、どこかの市でしたか区でしたか、三笠さんがおっしゃっていましたが、有償ボランティアなんだけども、まちのコンシェルジュみたいな形で、どこどこに何を買いたい人がいます、そういう買ってくれる人がどこどこにいますっていうような、そういういわゆるコンシェルジュ、パイプ役みたいなことをしてくれる人がいたらいいのかなというところなんです。

それと、実現性は中くらいなんですけども、何も小金井市民だからといって小金井市のお店だけにこだわるのではなくて、近隣の国分寺とか府中市と連携を図って、そういうところをうまく使ったらいいのかなっていうことがありました。あとは東小金井でも始まっている市場のマルシェですか、そう

いったものを少しあちこちに広げていけるといいのかなというところから、今は空き店舗なんかも結構あるようなので、その辺をうまく活用できると、例えば実際にそこに野菜の直売所みたいなものをつくったりして、そういうところで、坂を上がらなくてもご本人が見て買えるっていうのがあるといいかなということです。あと、宅配してくれるお店がふえるといいなっていうことで、一応駅前まで買いに行くことはできても、それをつえをついているイチコさんが買って帰るには、持って帰るには結構限界があるので、そういったことを配達してくれるお店があるといいなというところですかね。

あと共助のところでは、ここが、さっきの松嶋さんのところとかぶるところとか違うところがあるかもしれませんが、ちょっとおもしろかった実現性が高そうな発想としては、デイサービスにご本人が仮に、イチコさんは行っていませんけど、この方がデイサービスに通われたとしたら、そこに移動販売車が来て、デイに行くことをためらっている人が移動販売車があるからデイに行くっていうような感じで、そこで買って、買ったものを送迎の車に載せてもらっておうちまで帰るといったようなことができたらいいいのかなというお話がありました。

あとはハンディサポートとか今ありますけども、その半額券みたいなものとか、普通でも安いみたいですが、半額になるともうちょっとより活用できるかなというところですかね。あと、それからやっぱりお店は坂下のほうにも誘致してほしいなというところで、実現性は低いかもしれませんがそんなお話も出ました。

あと、公助のところでは、こちらは堀池課長がいらしたのでいろいろとCoCoバスの話がたくさん出ましたが、やっぱりCoCoバスの増便とか停留所の増設っていうご意見が出ていましたし、あとやっぱりバス停をたくさんつくってもらえたらちょこちょこ出かけられるかなっていうのと、それから、公助のところではやっぱり一番実現性も高いし、あつたらいいいっていうのが情報の一元化、それも交通、移動手段についての情報の一元化というところで、情報があちこちいろんなところにあるみたいなので、介護でも障害でもいい、そんな情報が全て網羅されたものを、やっぱりパンフレットか何かでつけて情報提供してあげるといいのかなというところでした。それから、やっぱり買い物した後の重たい荷物は持って帰ることが難しいので、今よく5,000円以上で宅配とかありますけども、そんなにハードルが高くないと、もうちょっと安いものを買ったとしても宅配してもらえるといいかなというよう

なお話が出ました。

以上です。(拍手)

(委員長)いろいろな案が出てきて、大変おもしろかったのですが、それでは、次は、はい、どうぞ、お願いいたします。

(みなみ地域包括支援センター) すみません、2班のみなみ包括の田口と申します。よろしくお願いいたします。

私たちの班では市の担当のお二人と、みなみ包括職員3名、あとは社会福祉協議会の深澤さんと商工会の伊藤さんに参加していただいて、話し合いをしております。かなり松嶋さんに言われてしまったので、すみません、緊張しながら発表したいと思います。

まず自助と互助、共助、公助に分けてお話しさせていただければと思います。自助のほうは、どうしても私たちが一番集中してお話ししたところが互助になりますので、今回はあまり意見は出ていないんですが、自助のところでは、近所の住民の方に頼めるような自助努力をしていただくというような話が出ております。

互助のほうは、実際今実現されているというところも含めて、ハンディサポートさんの活用ということが出ております。ハンディサポートさんのほうは、今は1人で利用することが多いんですけども、その乗り合いができたらいいのではないかとこのところ出ております。

一番、今回互助のところなんですが、移動販売というところで2班のほうでもたくさん話をさせていただいたんですが、先ほどもお話が出ましたが、まずはニーズをしっかりと把握していくということを考えております。これについては、対象者の方が介護保険の、今回のイチコさんだけではなく、介護者の方、また子育てをされている方を対象にして幅広い人を対象にすると、いろいろそういうことも可能になってくるのではないかとこのことになりました。また、欲しいものといったもののリストのアンケート等をとるということも考えております。それには町会の方にご協力をいただいて、そういうものを回覧板で回したり、そういったことも検討で出ました。アンケートをつくる、分析するというところの交渉をする、こういったことは利益が出ないとやはりそういうことも続かないということもありましたので、どんな役割を担っていけばいいかというところでお話をしていくときに、商工会の伊藤さんのほうからもこういったことのアンケートは作成が可能ですというお話もいただいておりますので、ここにかなり力を入れております。

共助のところでは、こちらのほうは今できている実際のところでは介護保険で介護歩行器というもの、こういうものがあるんですけども、そういうものを皆さんにレンタルしていただいて、買い物に行っていただくというようなところが出ております。

公助のところなんですけど、こちらのほうは実際今実現されているというところでは道にベンチを、休めるところを増やされているという取り組みがありましたので、こちらのほうも出ております。

また、同じくCoCoバスのところなんですけども、バスの便を多くしたいという意見もあったんですが、実際どの時間帯がふえると皆さんがいいかというところになると、やはり大体お昼の前後かなというところで、10時から14時ぐらいというところで意見が出ておりました。

あとはボランティアさんというところで、先ほどデイサービスが出ましたけども、デイサービスさんの車両の乗り合いというところでも買い物に行けるという話が出ていたんですが、こういうものも買い物に行くところで、デイサービスさんのところではボランティアさんを募るというような意見も出ております。

ちょっと実現性は低いんですが、やはり先ほど出ましたが、はげの道とかにエレベーターとかエスカレーター、またバス停に手すりをつける、あとは話題性づくりで道の駅をつくると、こういったことが出ております。

以上です。(拍手)

(委員長) ありがとうございます。きたの松嶋さんを意識した発表だったようですが、買い物のニーズのアンケートをとったりするところではちょっと興味ありましたね。

では、ひがし地区をお願いいたします。

(ひがし地域包括支援センター) 1グループになります。1グループは委員長の齋藤先生、委員の高橋さん、経済課の高橋課長さん、あと包括3人と、途中退席されましたけれども商店会の今井さんにお話しいただいております。

まず自助の部分なんですけれども、先生のほうから今はやりのフレイル、体を使わないことで体が弱ってしまうというところをまず解消していくプログラムが必要なんじゃないのかな、そこをまず自助で1つ挙げています。ただ、元気になって楽しみがなければ元気になる意味もないよねというお話がありまして、その後の話のほうに続いているので、そこについては後でまたお話しします。

自助の中で、インターネットを活用できる方もいらっしゃるのですが、そういったものを活用したらいいんじゃないのかなだとか、あと、お金があるんだったらタクシーを呼んで買い物に行ったらいいんじゃないのというお話も出ています。ただ、今都内ではちょい乗りタクシーとって少しお値段が安く、距離が短ければ安いというところがあるので、そういったものが小金井でもあったらいいんじゃないのかなということで、下のほうにちょっと入っているところになります。

互助のところになるんですけども、買い物を1人で行くことが心配だという方に関しては買い物サポーター、ボランティアさんみたいな方が一緒に行くことで安心してできるんじゃないのかなというところ。そことあわせてなんですけれども、今子どものほうで、子ども家庭支援センターのほうですかね、ファミリーサポートとって、会員になって会員の方ができることをやっていくという形があるので、そういったものが高齢者版みたいなものができたらいいんじゃないのかなということで、公助のほうにその部分が入っています。あと、なかなか、お金がかけられなくてという方に関しては、ハンディサポートみたいな移送サービスが使えたらいいんじゃないのかなというお話が互助の中に出てきているんですけども、そこから発展して、商店街のほうから車を出してもらって、要は買い物ツアーみたいな感じで行きたい方を募って商店街まで行くという方法があるんじゃないのかなというお話もいただきました。ただそことあわせて、買い物ツアーというと今は旅行会社でもいろいろとありますようにいろんな商店を回って楽しめるという部分もありますので、先ほどのフレイルの解消という部分とあわせていろんな商店を回って、ご飯でも食べて帰りましょうみたいな買い物ツアーができたらいいのかなというお話も出てきていました。

あと、共助、公助のほうはなかなか分類しづらかった部分ではあるんですけども、坂下でなかなか商店がないというところの話の中で、何とかそういったところで買い物ができるところがないのかなという話がありました。野川もたくさん歩いている方がいるので、コンビニができたらいいのかな、なんていう話もありましたけれども、ただ採算がとれなければなかなかできないのかなという話がありました。

その中で出てきたアイデアとして、坂下のほうで天神前集会所という集会所があるんですけども、そういったところに、例えばいつ買い物、商店が来て出店してますよみたいな形でお店が出ることができれば、そこに買い物

に来れる方がいるんじゃないのかなですとか、みなみ包括さんのほうでサロンが始まっているので、サロンに来てお茶でも飲んで買い物して帰りましょ
うね、友達をふやしましょうね、元気になりましょねみたいな感じのつな
がりができたらいいんじゃないかというお話も出てきていました。

あとあわせて、都営住宅が結構あって、そこに集会所もありますので、そ
こでも同じような取り組みができたら、もっと身近なところで買い物ができ
る方法があるんじゃないのかなというお話が出てきています。

あと1つおもしろかったのが、なかなか人がいないから商店が出せないん
じゃないかというところの発想があるんですけども、逆転の発想として、
若い方がもっと坂下に住むことで人がふえる、人がふえて買い物できる需要
が出てくる、そうすれば商店がふえるんじゃないかみたいな逆転の発想の話
も出てきていました。そういったところで若い人を坂下に呼び込むという方
法もあるんじゃないかという意見もありました。

あと、どこかのグループでも出ていたんですけども、お買い物がしやす
いマップだとかサロンのマップがあることで、もう少し出て行きやすくなる
んじゃないのかなというところですか、いろんなところでサロンをやっ
ているけれども、その情報が周知されていないのであれば、もっともっと周知
する機会があったらいいんじゃないのかなだとか、お買い物のマップをつ
くるときに高齢者と一緒につくるっていうことで、またさっきのふえるところ
に戻ってくるんですけども、元気な高齢者がふえるんじゃないのかなとい
う話もしていました。何かうちのグループでは1つのことをやるということ
じゃなくて、何かと何かをくっつけることで相乗効果ができたらいいんじ
ゃないのかなというお話がありました。

以上です。(拍手)

(委員長) 高橋さん、ありがとうございました。

以上で各グループの発表は終わったんですが、もうこれで、まとめをする
んですか。今日は小金井市商工会、商店会連合会、経済課、交通対策課など
からもたくさん来ていただいて、ちょっといつもとは違った視点からのお話
がいろいろできて、新しい発想、新しい対策がいろいろできたんじゃないか
なと思って、各グループもそれぞれ特色のある点もありましたし、共有した
点もあったかと思いますが、こういったことを後でまとめていただきます。

地域包括ケアシステムは一部の人たちだけがやるものではなくて、全市的
に取り組んでいくもので、まず今日は非常に感銘を受けたのは、市の他の課

の方々が来てくれたということで、非常に市役所も庁内連携が少しとれてきているのかなと。従来は縦割り行政とよく言われますが、大変いい兆候があらわれてきたかなと、これは新市長のおかげなのだろうかと、もしいたら喜ぶような話をちょっとしました。もう少し、でも市長さんにもまた一段と力を入れて頑張ってくださいと思いますし、他の課の方々もまた呼んでいただいて、来年は、もっと広くして、宮地楽器の小ホールぐらいでやるぐらいの感じでしょうか、そんな感じでやれたらとも思います。

それから、やっぱり商工会の方々に来ていただいて、商工会の方々の考え方というのは商業主義というわけじゃないです。ほんとうに人の動きを考えたり、購買の意欲のほうを考えてくれたりということで、お客様のニーズに沿った対策をいろいろ考えてくださって、とてもよかったかなと思います。

ということで、簡単なまとめでしたけど、よろしいでしょうか。今日はほんとうにありがとうございました。これで地域ケア会議のほうは終わりということになります。

では、最後に議題3、その他をお願いします。

(包括支援係長) 包括支援係長でございます。

資料3に包括の事業報告がございます。資料の説明につきましては、本日は時間の関係上予定はしておりませんが、ちょっと見ていただいて、もしくは事前にお目通しいただいた中で、このことをぜひご質問したいというところがございますたらお願いしたいと思います。

(委員長) それで説明は終わりなんですね。

特に何かございますでしょうか。

高橋さん、どうぞ。

(高橋委員) 市民公募委員の高橋です。

すみません、3点あります。2ページのところなんですけれども、介護予防把握事業、ここで相談会等に来てくださっている方が74名、利用者としてあるんですけども、これは皆様は少ないと思っていられるのか、まあ、相応と思っていられるのかということが1点です。

2点目なんですけれども、そのページの一番下の指定介護予防支援（予防給付）のところで、終了した方が67件という数字なんですけど、括弧で「介護給付や地域支援事業への移行を除く」ということなのですが、どういう理由で終了者が67件いるのかということを知りたいと思いました。

3点目なんですけれども、高齢者虐待です。それぞれの地域包括の方の件

数を見ましたところ、ひがしさんとにしさんは虐待の相談実数とかも非常に少なく、虐待認定も少ないので、ほかの包括さんに比べて少ないのはどういったことなのかなど。情報提供が少なかったのか、ほんとうに虐待が少ない平和なまちなのか、高齢者の分布図を見てもそんなに大きな違いがないので、ちょっとそこを疑問に思いました。

すみません、3点お願いします。

(包括支援係長) 包括支援係長でございます。私のほうでお答えできるところはお答えしますし、ほかのところは包括さんにお手伝いいただきたいと思っております。

まず1点目の介護予防の相談会関係です。こちらにつきましては、年度によってそんなに大きな差はございませんけれども、各包括ごとに市報でもご案内しておりますが介護予防相談会、もしくは何かの機会にイベントで相談を受けるといようなことを開催しております。どちらかという、こちらはそんなにわざわざこのときにお越しになるというよりは、随時のご相談のほうが数としては多いかなと思っております。

それから2点目です。指定介護予防支援の終了者というところですが、どのような方が終了になるのかというところで、ここについて、包括のほうで具体的な何かお答えが。一番最後がたしかひがしのことが出ていたと、みなみさんのほうでいかがでしょうか。

(みなみ地域包括支援センター) みなみ包括の田口です。

終了になる方なんですけども、介護保険の認定の更新の際に更新をされない方もいらっしゃる、そのサービスが未利用になるということがございます。そういう方が大半かと思われ、みなみ包括ではそういう方が多いです。

(委員長) ほか包括の方から追加はありますか。同じようなことで中止になっているということでもよろしいんですね。じゃあ、最後の質問については、ひがしの高橋さん、お願いします。

(ひがし地域包括支援センター) ひがし包括の高橋です。

虐待の件に関してお答えいたします。おそらくその圏域によって、ほかのセンターの方ともお話をするんですけども、特にうちのセンターは少ないのかなという印象は持っています。実際にひどい虐待という形の相談は、正直なところ入っていないというところが現状だと思います。もしかしたら気づかないところではあるかもしれないんですけども、ただケアマネさんの相談だったりとか、日々の関わりの中でやっぱり気になる方に関しましては、

ちょっと早い段階から関わりを持たせていただいたりとかしておれば、齋藤先生初め地域にいる先生方と連携をとりながら、ひどくなる前の対処をとっているというところのあらわれではないかなと私どもは考えております。

以上です。

(委員長) もう一カ所少ないところ。

(にし地域包括支援センター) にし包括の久野と申します。

虐待に関してなんですが、やはりうちは基本的に高齢者人口がにしは確かに少ないんですね、ほかの3包括に比べて。学芸大学がある貫井北町4丁目が大半を占めていますので、その分、絶対数が少ないというところもあると思いますが、今高橋さんがおっしゃったみたいに早目っていうんですか、一応ちょっと気になるような、虐待しそうだな、なりそうだなと気になるケースに関しては、ケアマネさんとも密に連携はしているというところで、ある程度私たちの努力として未然に防がせていただいているところはあるかと思えます。あと、もともとの人口が少ないということと、今挙げている29年1月までの合計ではこのぐらいなんですけど、もしかしたらこの後ドカッと出るかもしれないですけども、今現在ではこの数ということでご理解いただきたいと思えます。

以上です。

(委員長) ご質問いただいた高橋さん、それでよろしいですか。虐待が多いところが努力が足りないというわけではないと思いますが、やっぱり地域性ということが一番重いのかなと思えますけれど。

では、ほかに。

どうぞ、井上さん。

(井上委員) すみません、委員の井上ですけれども、ぜひ行政の方のお願いしたいんですけれども、今日せっかく皆さんからいろんな案が出ましたので、その中で実現性の高いものというのも結構あったと思うんです。ですから、この中でぜひ1つでも2つでも必ず実行していただきたいというのが我々の願いでございますので、ぜひその辺のところをよろしく願いいたします。

(委員長) 委員長が言わなきゃいけないことを言っていただいて、ありがとうございます。

じゃあ、高橋さん、どうぞ。

(経済課長) 経済課長の高橋でございます。

昨年の今ごろ、私も実は福祉保健部におりましたけれども、こういう会議

に参加するのは、立場が変わって経済課長として初めて参加させていただきました。

それで、今日は買い物弱者対策ということでグループ討議をしたわけなんですけれども、東京都が商業振興の視点から、平成29年度から買い物弱者対策の補助金というのをメニューとしてつくっております。その活用を検討しようっていう商店街もあらわれておりますので、今後の推移に我々としても期待したいかなという思いではございます。

今日は、実はそれ以外にも経済課長が所管している範囲が非常に広うございまして、観光とか農業とか消費者行政なんか私の所管でございまして。それで、今日はかなり強引な感じなんですけれども、消費者行政のことで少しお願いというか、共有認識が持てればというか、こんなことをやっていますよということで少しお話をさせていただきたいと思っております。

先ほど資料1で各包括支援センターさんの事業概要みたいなことが載ってまして、最後に資料3で、これは事業月報ということで事業の内容の報告がございました。この中で高齢者の虐待、権利擁護という項目があって、3つぐらいの包括支援センターさんの事業概要の中には消費者被害の未然防止みたいな、高齢者の未然防止といったことが書いてありまして、ただ月報にはその内容というのは実はあまり載っていないんです。何を言いたいかといいますと、最近やはり高齢者の消費者被害が非常に問題になっております。オレオレ詐欺とかというのは、小金井は非常に件数が多いというような話もありましたけれども、加えて、例えば強引な訪問販売とかということがやっぱり問題として挙げられております。

それで、経済課のほうでも消費生活相談室というのを設けておりまして、相談員として専門職を4名ほど配置して対応しております。地域包括ケアを考えていく中で、ぜひ相談室との連携というか、そこへのつなぎということも意識的にお願いさせていただきたいと。結局どこかに何かを押しつけるということではなくして、我々も専門職を配置して対応しておりますので、そういう中で消費者被害にかかわることについては私どもの専門職が対応して行って、必要があれば専門職同士が集まってケース会議みたいなことも必要かなと思っておりますけれども、今後地域包括ケアシステムを構築していくに当たって、ぜひ消費者の観点も加えていただければということで、これは私からのお願いでございまして。

29年度もそういった観点で研修会、講演会的なものも企画を考えておりま

すので、またそういう機会がございましたら個別にご案内をさせていただきたいと思えます。

我々も当然福祉の視点で、見守りということでの視点を持って、もし消費者行政の視点から何か対象者について気がつくことがあれば福祉のほうにつないでいきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(委員長) 高橋課長、ありがとうございます。大変重要な点でした。もうちょっと手短にやってもらえるといいのかなと思ったりします。

ほかに何かございますか。ないようでしたら、今日の議事はこれで全て終了ということで、事務局から事務連絡をお願いいたします。

(介護保険係長) 介護保険係長でございます。

2点ほど事務連絡させていただきます。次回の日程の関係でございます。少し先になりますが、今回は10月を予定しているところでございます。また日程等の詳細が決まりましたら別途ご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

あともう一点なんですが、明日の3月24日の午後1時半から運営協議会の全体会が開催される予定でございます。場所は市役所本庁舎の3階の第一会議室になります。委員の皆様には事前にご案内を差し上げていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

(委員長) ただいまの件でご質問はありませんか。

それでは、最後に部長さんのほうから一言お願いします。

(福祉保健部長) 福祉保健部長の佐久間でございます。

本日は年度末のお忙しい中をご参集賜りまして、ほんとうにありがとうございました。冒頭の市長の挨拶にもございましたように、住みなれた地域で暮らし続けるためには、そのための地域包括ケアシステムの構築につきましては、医療・介護・予防・住まい・生活支援と幅広い取り組みが求められているところでございます。地域ケア会議につきましては、まさに高齢者を地域でどのようにケアをして支えていけばいいのかという課題につきまして、福祉の枠を超えた関係者と市民とが知恵を出し合い、ともに考えるものでございます。

本日は買い物不便地域にお住まいの方への対策について、それをテーマにしてご協議いただいたわけですが、グループワークの中でいただきま

した貴重なご意見をもとに、今後の施策やまちづくりを進めてまいりたいと考えてございます。

今後も引き続きご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。（拍手）

（委員長）ありがとうございました。

次のケア会議は、いろいろ抽出された地域の問題点を検討して行政に上げていって対策を立てていくと、さっき井上さんがおっしゃったようなことで実現性のあるものは全て何とか実現にこぎつけていただければと思います。

ちょっと今日はいつもと違う形だったので私自身が戸惑ってしまって、ちょっと進行に不手際があり申しわけございませんでした。

次回どういう形でやるのかは、また介護福祉課さんのほうで考えてくれると思いますが、今日は大変な努力をされたんだと思います。介護福祉課さんに感謝申し上げます。

それでは、これで終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。

閉 会 午後5時5分